



# ALW コマンド

この章では、Cisco ONS 15454 SDH の ALW（許可）コマンドについて説明します。

## 2.1 ALW-CONSOLE-PORT

Allow Console Port（コンソールポートの許可）

**使用上のガイドライン** ML1000-2、ML100T-12 および ML-100T-8 カードのコンソールポートを有効にするには、このコマンドを使用します。

**カテゴリ** セキュリティ

**セキュリティ** スーパーユーザ

**入力形式** ALW-CONSOLE-PORT:[<TID>]:<AID>:<CTAG>;

**入力例** ALW-CONSOLE-PORT:CISCONODE:SLOT-2:123;

**入力パラメータ** 表 2-1 ALW-CONSOLE-PORT 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID。値については、「 <a href="#">25.1.11 EQPT</a> 」(p.25-16) を参照してください。

## 2.2 ALW-MSG-ALL

Allow Message All (すべてのメッセージの許可)

### 使用上のガイドライン

NE に、すべての REPT ALM および REPT EVT 自律メッセージが送信されるモードを開始するように指示します。これらの自律メッセージを抑制する方法については「INH-MSG-ALL」コマンドの説明を参照してください。TL1 セッションの開始時に、REPT ALM および REPT EVT メッセージはデフォルトで許可されます。



(注)

このコマンドを同じセッションで2回実行すると、SAAL (Status, Already Allowed) エラーメッセージが返されます。e ブロック内のオプションフィールドはサポートされません。

### カテゴリ

システム

### セキュリティ

検索

### 入力形式

ALW-MSG-ALL:[<TID>]:[<AID>]:<CTAG>[:;,:];

### 入力例

ALW-MSG-ALL:PETALUMA:ALL:549;

### 入力パラメータ

表 2-2 ALW-MSG-ALL 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID。サポートは AID ALL に制限されます。タイプは string です。

## 2.3 ALW-MSG-DBCHG

Allow Database Change Message (データベース変更メッセージの許可)

**使用上のガイドライン** REPT DBCHG を有効化します。TL1 セッションの開始時に、REPT DBCHG メッセージはデフォルトでは許可されません。



**(注)** このコマンドは、GR では定義されていません。

**カテゴリ** ログ

**セキュリティ** 検索

**入力形式** ALW-MSG-DBCHG:[<TID>]::<CTAG>[::,];

**入力例** ALW-MSG-DBCHG:CISCO::123;

**入力パラメータ** 表 2-3 ALW-MSG-DBCHG 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
—	

## 2.4 ALW-MSG-SECU

Allow Message Security (メッセージセキュリティの許可)

**使用上のガイドライン** REPT EVT SECU および REPT ALM SECU 自律メッセージを有効化します。

**カテゴリ** セキュリティ

**セキュリティ** スーパーユーザ

**入力形式** ALW-MSG-SECU:[<TID>]::<CTAG>[::,];

**入力例** ALW-MSG-SECU:PETALUMA::123;

**入力パラメータ** 表 2-4 ALW-MSG-SECU 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
—	

## 2.5 ALW-PMREPT-ALL

Allow Performance Report All (パフォーマンス レポートをすべて許可)

**使用上のガイドライン** 抑制されているすべての PM レポートの処理を再開します。PM レポートの許可はセッションベースです。つまり、このコマンドが有効なのは、このコマンドを実行した TL1 セッションだけです。

**カテゴリ** パフォーマンス

**セキュリティ** 検索

**入力形式** ALW-PMREPT-ALL:[<TID>]::<CTAG>;

**入力例** ALW-PMREPT-ALL:CISCONODE::123;

**入力パラメータ** 表 2-5 ALW-PMREPT-ALL 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
—	

## 2.6 ALW-SWDX-EQPT

Allow Switch Duplex Equipment (デュプレックス機器の切り替え許可)

### 使用上のガイドライン

デュプレックスまたは冗長機器を含むデュプレックス システムでの自動または手動切り替えを許可します。NE のデュプレックスへの切り替えを抑制する場合は、INH-SWDX-EQPT コマンドを使用してください。

ALW-SWDX-EQPT は、SONET 回線または電気回路カード保護切り替えでは使用されません。SONET 回線またはパス保護切り替えコマンドについては、OPR-PROTNSW および RLS-PROTNSW コマンドの説明を参照してください。電気回路カードの保護切り替えについては、SW-TOWKGEQPT および SW-TOPROTN-EQPT コマンドの説明を参照してください。



(注)

このリリースでは、このコマンドは XC-VXL-10G、XC-VXL-2.5G、および XC-VXC-10G 機器ユニットにのみ適用されます。

### カテゴリ

機器

### セキュリティ

メンテナンス

### 入力形式

ALW-SWDX-EQPT:[<TID>]:<AID>:<CTAG>[::];

### 入力例

ALW-SWDX-EQPT:CISCO:SLOT-8:1234;

### 入力パラメータ

表 2-6 ALW-SWDX-EQPT 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	XCVXL-10G/XCVXL-2.5G のアクセス ID (「 <a href="#">25.1.11 EQPT</a> 」 [p.25-16] を参照)。

## 2.7 ALW-SWTOPROTN-EQPT

Allow Switch to Protection Equipment (保護機器への切り替え許可)

### 使用上のガイドライン

機器ユニットの保護ステータスへの自動または手動切り替えを許可します。NE での保護への切り替えを抑制する場合は、INH-SWTOPROTN-EQPT コマンドを使用します。

ALW-SWTOPROTN-EQPT は、電気保護グループ (E1、E3、E4、および DS3i-N-12 など) に含めることができる電気回路カードで使用されます。このコマンドを現用ユニットに対して実行すると、現用ユニットは保護ユニットへの切り替えが許可されます。このコマンドを保護ユニットに対して実行すると、保護グループ内のどの現用ユニットでも保護ユニットへの切り替えが許可されます。

AID で指定された、ユニット上の INHSWPR の持続状態はクリアされます。



(注)

- このコマンドは、<DIRN> パラメータの 1 つの値 (BTH) だけをサポートします。他の値でコマンドを実行すると、コマンドの誤用とみなされます。IDNV (Input, Data Not Valid) エラーメッセージが返されます。
- このコマンドは、共通コントロール (TCC2/TCC2P または XC-VXL-10G/XC-VXL-2.5G) カードには使用されません。共通コントロール カードでコマンドを実行すると、IIAC (Input, Invalid Access Identifier) エラーメッセージが返されます。共通コントロール カードの切り替えコマンドを実行するには、SW-DX-EQPT および ALW-SWDX-EQPT コマンドを使用します。
- このコマンドは、SDH (STM) カードには使用されません。SONET カードでコマンドを実行すると、IIAC (Input, Invalid Access Identifier) エラーメッセージが返されます。SDH カードの切り替えコマンドを使用する場合は、OPR-PROTNSW および RLS-PROTNSW コマンドを使用します。
- このコマンドを保護グループに属さないカードで使用すると、SNVS (Status, Not in Valid State) エラーメッセージが返されます。
- このコマンドが、抑制状態ではないカードで使用すると、SAAL (Status, Already Allowed) エラーメッセージが返されます。
- 上記のエラー条件に該当しないかぎり、このコマンドを存在しないカードに送信しても許容され、エラー応答は生成されません。

### カテゴリ

機器

### セキュリティ

メンテナンス

### 入力形式

ALW-SWTOPROTN-EQPT:[<TID>]:<AID>:<CTAG>[:<DIRN>];

### 入力例

ALW-SWTOPROTN-EQPT:CISCO:SLOT-2:123::BTH;

## 入力パラメータ

表 2-7 ALW-SWTOPROTN-EQPT 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID。このパラメータには、トラフィックの伝送が許可される保護ユニット（ロックアウトの解放）、または保護への切り替えが許可される現用ユニット（ロック オンの解放）のどちらかを指定できます。値については、「 <a href="#">25.1.11 EQPT</a> 」(p.25-16) を参照してください。
DIRN	AID フィールドで定義されているエンティティに関連する方向、つまり、切り替えの方向です。このコマンドでは、DIRN パラメータの1つの値（BTH）だけがサポートされます。デフォルトは BTH です。 パラメータ タイプは DIRECTION（送信および受信方向）です。
• BTH	送信および受信の両方向

## 2.8 ALW-SWTOWKG-EQPT

Allow Switch to Working Equipment (現用機器への切り替え許可)

### 使用上のガイドライン

機器ユニットの現用ステータスへの自動または手動切り替えを許可します。NE での現用への切り替えを抑制する場合は、INH-SWTOWKG-EQPT コマンドを使用します。ALW-SWTOWKG-EQPT は、電気保護グループ (E1、E3、E4、および DS3i-N-12 など) に含めることができる電気回路カードで使用されます。

このコマンドを現用ユニットで実行すると、現用ユニットはトラフィックを送送できるようになります。復元を保護する場合、復元時間の設定に関係なく、トラフィックは保護ユニットから現用ユニットにすぐに切り替わります。

このコマンドを保護ユニットで実行すると、現用ユニットで INH-SWTOWKG が実行されていない限り、保護ユニットは現在保護されている現用ユニットに切り替わります。復元を保護する場合、復元時間の設定に関係なく、トラフィックは保護ユニットから現用ユニットにすぐに切り替わります。復元を保護しない場合、保護ユニットは継続してトラフィックを送送します。

AID で指定された、ユニット上の INH-SWTOWKG の持続状態はクリアされます。



(注)

- このコマンドは、<DIRN> パラメータの 1 つの値 (BTH) だけをサポートします。他の値でコマンドを実行すると、コマンドの誤用とみなされます。IDNV (Input, Data Not Valid) エラーメッセージが返されます。
- このコマンドは、共通コントロール (TCC2/TCC2P または XC-VXL-10G/XC-VXL-2.5G) カードには使用されません。共通コントロールカードでコマンドを実行すると、IIAC (Input, Invalid Access Identifier) エラーメッセージが返されます。共通コントロールカードの切り替えコマンドを実行するには、SW-DX-EQPT および ALW-SWDX-EQPT コマンドを使用します。
- このコマンドは、SDH (STM) カードには使用されません。SDH カードでコマンドを実行すると、IIAC (Input, Invalid Access Identifier) エラーメッセージが返されます。SONET カードの切り替えコマンドを実行するには、OPR-PROTNSW および RLS-PROTNSW コマンドを使用します。
- このコマンドを保護グループに属さないカードで使用すると、SNVS (Status, Not in Valid State) エラーメッセージが返されます。
- このコマンドが、抑制状態ではないカードで使用すると、SAAL (Status, Already Allowed) エラーメッセージが返されます。
- 上記のエラー条件に該当しないかぎり、このコマンドを存在しないカードに送信しても許容され、エラー応答は生成されません。

カテゴリ	機器
セキュリティ	メンテナンス
入力形式	ALW-SWTOWKG-EQPT:[<TID>]:<AID>:<CTAG>[::<DIRN>];
入力例	ALW-SWTOWKG-EQPT:CISCO:SLOT-2:123::BTH;



## 入力パラメータ

表 2-8 ALW-SWTOWKG-EQPT 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
AID	アクセス ID。このパラメータには、トラフィックの伝送が許可される保護ユニット（ロックアウトの解放）、または保護への切り替えが許可される現用ユニット（ロック オンの解放）のどちらかを指定できます。値については、「 <a href="#">25.1.11 EQPT</a> 」(p.25-16)を参照してください。
DIRN	AID フィールドで定義されているエンティティに関連する方向、つまり、切り替えの方向です。このコマンドでは、DIRN パラメータの1つの値（BTH）だけがサポートされます。デフォルトは BTH です。 パラメータ タイプは DIRECTION（送信および受信方向）です。
• BTH	送信および受信の両方向

## 2.9 ALW-USER-SECU

Allow User Security (ユーザセキュリティの許可)

**使用上のガイドライン** ユーザが NE とのセッションを再確立できるように、INH-USER-SECU コマンドで無効にしたユーザ ID を有効にします。

**カテゴリ** セキュリティ

**セキュリティ** スーパーユーザ

**入力形式** ALW-USER-SECU:[<TID>]::<CTAG>::<UID>;

**入力例** ALW-USER-SECU:PETALUMA::123::UID;

**入力パラメータ** 表 2-9 ALW-USER-SECU 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
UID	ログインしているユーザの識別子 (ユーザ ID)。UID には「&」で区切られたユーザ ID のリストを指定できます。キーワード ALL を使用して、NE 上のすべてのユーザを指定することはできません。タイプは string です。